



### 1. 夜間景観グループ

- ① 河川公園の桜はおすすめのお花見の場所。ラブ花火の時にはキャンドルの演出が楽しい。
- ② せせらぎ橋は形の良い橋なので、ライトアップしたらよい。公園からも眺められる。橋は重要。
- ③ 音信川に面した旅館や住宅も河川の景観をついているので夜間景観に活かさないか。
- ④ 音信川遊歩道の護岸は夜間景観に活かそう。蛍が飛ぶのでそれも夜の風景。
- ⑤ 恩湯と千代橋はお祭りの舞台でもあり、まちの中心。湯本には「ほっとするあかり」が似合う。
- ⑥ 住吉神社の境内は大切な場所。階段の大きな紅葉や桜はライトアップなどでできたらよい。
- ⑦ 新しくできる大階段の両脇が竹藪なら、京都のようにライトアップするのはどうか。
- ⑧ 316号線から湯本温泉入口にかけては暗くて不安な場所がある。
- ⑨ 足湯から見えるまわりの風景の演出が重要。橋や樹木などの夜の景色を検討したほうが良い。
- ⑩ 桜並木のライトアップがあったら良い。
- ⑪ 大寧寺のモミジや桜も名物でライトアップも行っているがもっとやってほしい。遊歩道も大切。

### 2. 観光まちづくりグループ

- ① 線路を越え木が生い茂る山道を抜けると、ぱっと湯本の全景を眺められるオススメの場所！
- ② 一両編成の電車と温泉旅館や趣ある町並みを一緒に見ることができる。写真に取りたい場所。
- ③ 湯本温泉の入口というと、俊寛の墓あたりと、鶴声橋のあたりではないか。
- ④ 音信川には以前はホテルや、美声で和歌などにも読まれたカジカがたくさんいた。ここで養殖していたはず。生き物のいる、静かな自然を感じられる環境も残したい。
- ⑤ 足湯につかりながらホテル鑑賞や小動物を眺めることができると良い。
- ⑥ きらきら橋など川辺で本を読みながらビールを飲むのが楽しい。
- ⑦ 住吉神社は温泉祭りや恩湯とのつながりがあり大切だが、木々に囲まれ存在がわからない。
- ⑧ まちかど資料館をもっと活かしたい。
- ⑨ 夜まで営業している飲食店が少ないため、夜の楽しみ、回遊性が少ない。
- ⑩ 旅館以外にお土産屋があったほうが、地域の名産や名物がわかって良い。

### 3. 交通計画グループ

- ① 公衆浴場駐車場が移設されるため、高齢者や障がいのある人が使える駐車場が必要ではないか。
- ② 利重旅館周辺の路地については、人が通りやすくなるよう整備が必要。
- ③ 新しく整備される公共駐車場から川の方へ降りる道が必要。上りはエスカレーターなどがほしい。
- ④ 路線バスは利用者が少ないため、通さなくても良いのではないか。
- ⑤ そろそろ歩きができる広い歩行空間を創出し、テーブルや椅子、店舗等を配置して賑わいある空間とするため、音信川左岸側の道路を三ノ瀬方面への一方通行としてはどうか。
- ⑥ 将来的には、道路上で収益活動を行い、道路の維持管理や充実に還元できれば良い。
- ⑦ 歩行空間が広がると、路上駐車が増加や渋滞が発生するのではないか。路上駐車は排除すべき。
- ⑧ 大型バスや荷さばきトラック（4トン車）が走れる幅が必要。
- ⑨ 湯本郵便局直近の交差点部が、湯本温泉街への玄関口になれば良い。
- ⑩ 将来的に駐車場が足りないのではないか。各旅館の駐車場の利用状況はどうか。

### 4. ランドスケープ・河川利用グループ

- ① 蛭は長門湯本の観光資源である。玉仙閣近くの大寧寺川水辺の広場、門前橋周辺、大谷山荘上流で蛭がよく見られる。地域で協力して、夜8～10時の間など一定時間照明を消すことも考えられる。
- ② きらきら橋から曙橋までの桜の並木は長門市内で一番の桜並木だと感じている。
- ③ お地藏様のこみちは良い雰囲気のみちであるが、枝分かれするみちを含め夜は暗い。
- ④ 5月には、おとずれ足湯付近で鯉のぼりを飾っている。恩湯付近など他の場所でも飾りたい。
- ⑤ 足湯～八千代橋区間の石垣の隙間から雑草が生え、河川遊歩道を狭めることがある。蛇が出て危険。
- ⑥ 張出道路のアーチに増水後に大量のゴミがかかる。行政ですぐに対応できない場合は地元有志でゴミの撤去を行っている。
- ⑦ 音信川で泳ぎができる安全なスペースを確保できると良いと思う。
- ⑧ 音信川沿いに自動販売機などで鯉の餌販売があると良いと思う。
- ⑨ 歩道と車道を明確に分離しなくても、道路の構造や路面表示などを工夫して歩車共存の空間として運用することも考えられるのではないか。

### 5. 建築・リノベグループ

- ① 恩湯の隣の住宅、兼田酒店の住宅などは古くからあり文化財級なので残していきたい。門構えも立派。
- ② 2階の窓が連続する建物は置屋(芸者さんの住宅)や旅館の特徴。温泉街らしい外観。
- ③ 周辺の集落には平屋の母屋と2階建ての納屋がセットになった美しい赤瓦の民家が多い。門前や三ノ瀬にも見られる。
- ④ 赤瓦は農家の住宅、黒瓦は漁師の住宅という位置づけであったという話を聞いたことがある。
- ⑤ 赤瓦の屋根はあたりまえすぎて、その良さに気づいていなかった。現在では少なくなりつつある。
- ⑥ 湯本だけではなく、三ノ瀬や門前にも美しい庭や門がある住宅が多くある。
- ⑦ 昭和30年頃の恩湯は、純和風のデザインで趣がある。道後温泉を見て真似たという話もある。
- ⑧ 原田屋旅館裏の路地沿いにある建物や公衆浴場駐車場隣の4階建ての建物なども活用できるかも。
- ⑨ 恩湯の裏にあった焼き鳥屋が復活してほしい。三ノ瀬にある外郎屋さんも重要である。
- ⑩ 千代橋前の建物は昔土産屋であった。また踏切前の建物は駄菓子屋であった。



② せせらぎ橋



③ 音信川に面した景観



② 美祿線の通る風景



⑤ 音信川沿いの足湯



① 公衆浴場駐車場



⑤ 狭い歩道と路上駐車



① 大寧寺川水辺の広場



② きらきら橋からの桜



① 恩湯の隣の建物



② 置屋のデザインが残る